

立派な社会人となる支援で、頭の知能指数（IQ）と心の知能指数（EQ）を高める次世代を担う育成事業として塾を開校いたしました。

教育理念は『知性の向上と感性を育み自ら学び考える力、豊かな想像力、規律を重んじる心』で地域に愛され喜んでいただけることです。

また、指導者は京都で一番の熱意と面倒見をスローガンに社会人への通過点として多くの気づき、考えを発見してほしいと切望しています。

SK塾は一般私塾とは違い運営利益の追求ではなく塾生の育成を第一に考え、教育環境（自社ビル教室）や自習室の対応やコーチの育成費などなどに投資しています。

この10年間で、子どもたちが遭遇している、登校拒否、学級崩壊、いじめ、暴力などを学習塾で学問を学びながら教育指導者と接し、コミュニケーションすることにより、少しずつなくなってきたように思われます。

指導者研修では、

- ① 器（心）の大きな人間を目指す努力をすること

- ② 整理・整頓・清掃＝3Sを身につけ、心の乱れをなくし
塾生に接すること
- ③ コミュニケーションを大切に塾生の学習意欲を引き出すこと

上記の3条件を習得した先生に授業を任せています。

まとめ

「三世因果」過去、現在、未来を認識し、惜しみない努力に挑戦してほしい。

{ 過去にどんな種まきをしていたか、
知りたければ現在の結果を見ればよい！
未来にどんな結果が現れるか知りたければ
現在の種まきを見ればわかる！ }

こんな理想を掲げ日々塾生に感謝して、1日も長く運営したいと願っています。

第1章 コーチングの教えについて！

SK顧問 石山 雄一

第2章 学習体験について！

SKコーチリーダー 加藤 茂

最後までお読みいただければ必ずお子様教育のお役に立つ
と確信しております。

個別指導塾SK 教室代表 木下 悟

褒めれば伸びるって本当ですか？

熱意と面倒見の塾

個別指導塾 SK

顧問 石山 雄一

『コミュニケーションにおいてもっとも大切なことは、

語られていないことを聴くことである』

Peter Ferdinand Drucker

はじめに

円滑なコミュニケーションを実現するためには、いろいろな手法があります。書店や図書館に行けばその手の書籍は所狭しと並んでいますし、インターネットで検索しても目を通しきれないほどの情報が氾濫しています。私がコミュニケーションについて真剣に考えるようになったのは今から15年以上前のことです。そのころの私は人間関係の難しさに疲れ果て辟易し、「自分はなぜこんなにも人との関係を築くのが下手なのだろうか」と自己嫌悪に苛まれる毎日を過ごしていました。仕事柄、人との関係が成果にも大きく影響する立場だったために、暇さえあれば「人と関わらずにやっていける仕事はないだろうか」と求人誌をめくっていたような状況でした。そんな私が他者とのコミュニケーションを根本から考え直し、どうせだめで元々なら自分にあったコミュニケーションの形を考えてみようと思ったのは、そこに間違いなく答えがあると信じていたわけではなく、「もしかして、それで人間関係を円滑に進めることができれば、そんなラッキーなことはない」という楽天的な考えと、「もし答えに近いものが見つかる可能性があるのならやってみて損はない」という、溺れる者は藁をも掴むといった心境でした。

ですから、ここで私がお伝えする話は、人間関係やコミュニケーションになんの悩みも迷いも不安もない、毎日幸せで明るい未来しか想像できない、という人にとってはなんの価値もないものかもしれません。しかし、あなたがわずかでも人間関係やコミュニケーションに悩むことがあったり、苦しいと感じたり、どうしてうまくいかないのだろうと頭を悩ませることのある方であれば、たとえほんの少しでもそういう気持ちを感じたことのある方であれば、それが仕事上のことであれプライベート上のことであれ、必ずなんらかのお役に立てるはずだと自信を持って言えます。コミュニケーションというのは一部だけを変えることで何もかもがうまくいくわけではありません。その全体像を意識して実践していただくことで大きな効果を発揮するものですが、では何もかもを理解した上でなければなんの効果もないのかと言えば決してそうではありません。最初のうちは、それらの一部だけを実践していくことで手一杯になるかもしれませんが、それでも十分です。それだけで、あなたが今まで感じていたコミュニケーションのストレスは間違いなく軽減されます。もちろん、常にコミュニケーションの全体像、その構造を意識して取り組んでいただくことで、大きな成果の創造により近づくことができますから、一部を実践していただいてもわずかでも手ごたえを感じたなら、ぜひ続けてみてください。その全体像につ

いては、この本の中で改めて触れたいと思っていますが、まず読み進められるにあたって、そのことをぜひ心に留めておいていただければ幸いです。お伝えしたいことは本当にたくさんあるのですが、ここでは紙面の都合上その一部しかお伝えできないことが非常に残念ですが、今回はコーチングの4つのエッセンスである「傾聴の技術」「質問する技術」「承認する技術」「提案する技術」のうち、「傾聴の技術」「質問する技術」についてお伝えしていきます。では、いよいよあなたのコミュニケーションをさらに輝かせるための第一歩、最初のドアを開きましょう。